

## 医学研究センター

### 共同利用施設運営部門

坂本 安  
(部門長)

#### 1. 構成員

部門長：坂本 安 (SAKAMOTO Yasushi)：中央研究施設機能部門：教授：任期：H30年3月31日  
副部門長：佐藤 毅 (SATO Takeshi)：歯科・口腔外科：准教授：任期：H30年3月31日  
副部門長：田丸 淳一 (TAMARU Jyunichi)：総合医療センター病理部：教授：任期：H30年3月31日  
部門員：大島 晋 (OHSHIMA Susumu)：中央研究施設形態部門：准教授：任期：H30年3月31日  
部門員：一色 政志 (ISSHIKI Masashi)：中央研究施設 RI 部門：准教授：任期：H30年3月31日  
部門員：仁科 正実 (NISHINA Masami)：中央研究施設実験動物部門：准教授：任期：H30年3月31日  
部門員：椎橋実智男 (SHIBASHI Michio)：情報技術支援推進センター：教授：任期：H30年3月31日

#### 2. 目的

本学研究者による最先端の高度な研究推進を支援するための学内共同利用の研究施設が、本学における臨床及び基礎医学研究の推進・発展の基盤となり機能するために必要な事項について検討し、必要に応じて部門会議を開催して討議する。

#### 3. 活動報告

##### 【共同利用実験室利用の啓蒙と整備】

共同利用実験室は、実験室を持たない教員に対して、最小限の機器を備えた実験場所を提供し、もって当該教員の研究活動のセットアップに資することを目的として平成24(2012)年9月10日より運用が開始された。平成29(2017)年度は、皮膚科(2グループ)、内分泌・糖尿病内科、歯科・口腔外科、消化器一般外科、医学研究センター、脳神経外科、薬剤部(ER)、生理学、小児科、アドミッションセンター、腎臓内科(2グループ)、消化管内科の各基本学科により有効利用された。

##### 【研究機器・設備整備】

①平成29(2017)年9月、ニコン社製・培養倒立顕微鏡 ECLIPSE Ts2・エンボスメカニカル40xセット Ts2-EM-1が平成29年度埼玉医科大学研究マインド支援グラントにより導入され、利用が開始された。②平成29(2017)年5月、第三研究棟(実験動物部門とRI部門)の入館キーが指紋照合タイプからカードキータイプへの変更する工事が行われ、無事に利用が開始された。③共同利用実験室、共同利用フェローステーション、中央研究施設機能部門の水道、流し等の改装工事が行われた。④平成29(2017)年11月23日～平成30(2018)年3月末まで第三研究棟(実験動物部門とRI部門)の耐震工事が行われた。

##### 【テクニカルセミナーの開催】

以下のテクニカルセミナーを開催し、新規設備の取り扱い及び新しい研究技術を紹介した。

①平成29(2017)年4月13日、16:00-18:00、基礎医学棟3階・カンファレンスルーム「BIO-RAD 蛍光ウェスタンブロットティングのご紹介とChemiDoc Touchの取り扱い説明会」対象：学内研究者 ②平成29(2017)年12月8日、10:00-12:00、基礎医学棟2F実習室「BBD FACSMelody セルソーターを用いたデモンストレーション及びセルソーター BD FACSMelody の紹介」対象：学内研究者

##### 【委員会等】

1) 共同利用施設運営部門／中央研究施設運営委員会会議

①第66回中央研究施設運営委員会会議、日時：平成29(2017)年4月21日(金)～26日(水)、メーリングリスト会議、【議題】1) 小野 啓 委員の異動により、RI部門長が一色政志准教授となり、運営委員会・委員の残りの任期も引き継がれる旨報告された。2) 第三研究棟(実験動物部門、RI部門の管理区域)1階出入口施錠のキーカード化について、老朽化

により故障が多発したため施錠が更新される旨報告された。また、現在の施錠は、指紋照合タイプだが新規の施錠はキーカードタイプとなり、工事は5月29日(月)～30日(火)を予定している。更に、事前に利用者にカードキーを配布する必要がある、カードキーの適正な利用を促すために利用規約と交付申請書を作成したことが説明された。

【議事】2) に関して審議され、その内容について承認された。

②第67回中央研究施設運営委員会、日時：平成29(2017)年6月26日(月)～28日(水)、メーリングリスト会議、

【議題】1) 中央研究施設・設置希望機器一覧・履歴と研究機器の整備に関して

【議事】(1) 平成29年度の中央研究施設・設置希望機器一覧・履歴表に基づいて、本年度の研究機器の整備を図ることが了承された。

③第68回中央研究施設運営委員会、日時：平成29(2017)年11月27日(月)～12月13日(水)、メーリングリスト会議【議題】1) 中央研究施設各部門経理報告(要承認)、2) 埼玉医科大学 研究マインド支援グラント：共通部門への申請機器に関して(報告)【審議】(1) 中央研究施設各部門経理報告に関して支出合計および収支差額に一部誤りがある。(2)-1 形態部門および機能部門の総計を収支差額と修正、RI 部門、および実験動物部門の収支を収入変更すべき。2) 埼玉医科大学 研究マインド支援グラント：共通部門への申請機器に関して8月16日：平成29年度(埼玉医科大学 研究マインド支援グラント：共通部門)に「中央研究施設・基礎、臨床研究支援システム」を申請し、以下の①の内定が得られた旨報告された。①ニコン社製 培養倒立顕微鏡 ECLIPSE Ts2 エンボスメカニカル 40x セット Ts2-EM-1、【審議結果】1) 中央研究施設各部門経理報告は修正後承認された。

④第69回中央研究施設運営委員会、日時：平成30(2018)年3月2日(金)～3月8日(木)、メーリングリスト会議、【議題】1) 日高キャンパス(ゲノム医学研究センタービル内)におけるリサーチパークの開設に伴う、中央研究施設・日高ブランチ(機能部門、RI 部門、実験動物部門)の整備と業務、2) 中央研究施設並びに中央研究施設運営委員会の規則の変更、3) 中央研究施設・外部向けホームページ、4) 毛呂山キャンパス RI 部門の放射線管理システムの老朽化と更新、5) 中央研究施設・運営委員会の任期【審議】1) 日高キャンパス(ゲノム医学研究センタービル内)におけるブランディング事業申請とリサーチパークの開設に伴う、中央研究施設・日高ブランチ(機能部門・RI 部門・実験動物部門)の整備と業務について報告、説明された。2) 中央研究施設並びに中央研究施設運営委員会の規則の変更点に関する経緯と理由が説明され、「中央研究施設規則」として来年度4月1からの施行が承認され、日高ブランチの各部門長は、中央研究施設運営委員会の委員となることが了承された。3) 中央研究施設の外部用ホームページがほぼ完成したことが報告され、次回の中央研究施設運営委員での承認を得て“ホームページ管理運営委員会”に申請する旨説明された。4) RI 施設の放射線管理システムの老朽化、陳腐化が進み、修理不能の状態であり、管理システムの更新に関する見積書がRI 部門より提出され、現在までに生じた主な不具合等について報告された。5) 中央研究施設管理運営委員会・委員の任期が満了となるため、次年度からの新たな運営委員会メンバーが決められた。

#### 【共同研究の啓蒙活動等】

東洋大学バイオ・ナノエレクトロニクスセンター(平成29年4月1日～32年3月31日)及び城西大学(平成28年4月1日～30年3月31日)と中央研究施設の間で共同研究契約書を取り交わしており、共同利用施設を有効利用した共同研究が継続されている。更に参加研究者が増加する予定であるため、医学研究センター共同利用実験室と共同利用フェローステーションの利用を啓蒙し、サポートを行う。

#### 4. 評価と次年度目標

実験動物施設における感染対策に関しては、極めて良好な結果が得られている。耐震工事等の汚染が懸念される環境下であったが感染動物の検出はほぼ陰性の状態を続けている。助成金申請に関わる変化が大きいため共同利用施設運営部門として事務部門とタイアップし、共同利用研究機器購入経費を獲得することを目的として活動して来たが、他大学との連携が重要な面があり、次年度は新たに外部向けホームページの作成を開始する。共同利用施設の設備の情報公開と新たな連携大学の開拓を目指す。

平成29(2017)11月より、リサーチパーク構想に関連して共同研究の遂行をサポートするために中央研究施設日高ブランチが改組されることとなった。日高ブランチには機能部門、RI 部門、実験動物部門が置かれるため中央研究施設が組織として拡大される。毛呂山キャンパス同様に共同利用実験室の整備、運営が必要となるため、共同利用施設運営部門としてもこれらの構想を支援するための検討を開始し新年度に備える。また、外部向けホームページに順次日高ブランチの情報を公開して行く。